

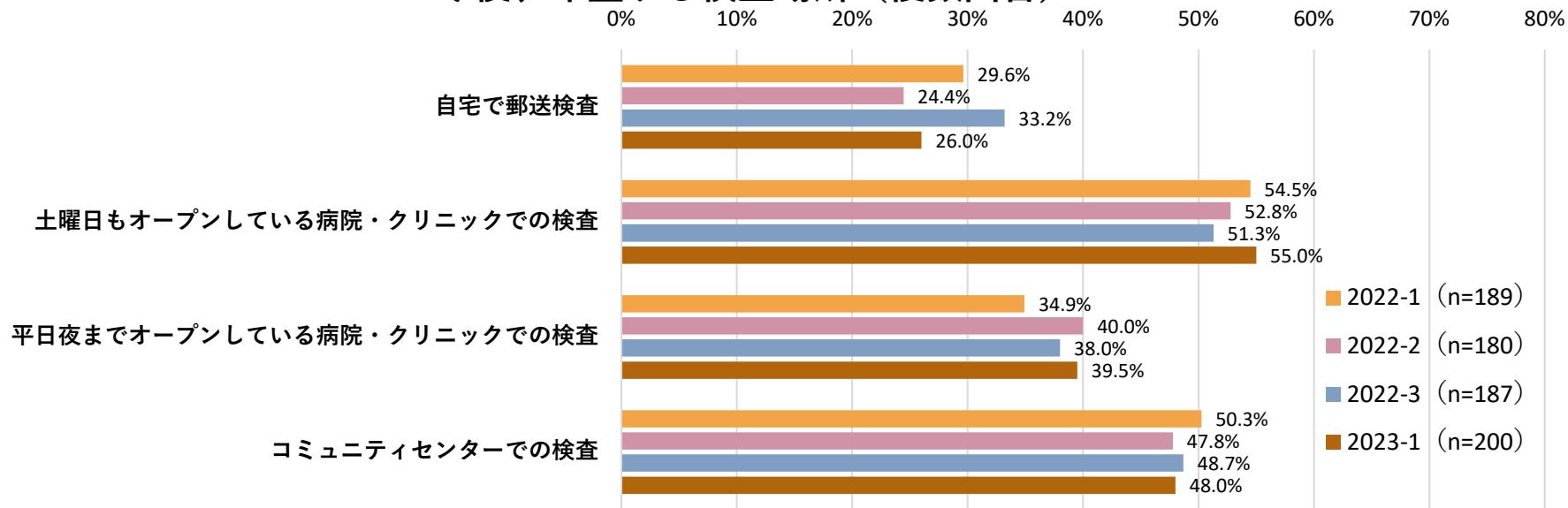
# iTesting受検者アンケート（4回分）結果から

方法：受検者アンケート：結果通知WEBサイトアクセス直前に、任意でWEB上に設置されたアンケートに回答協力を依頼

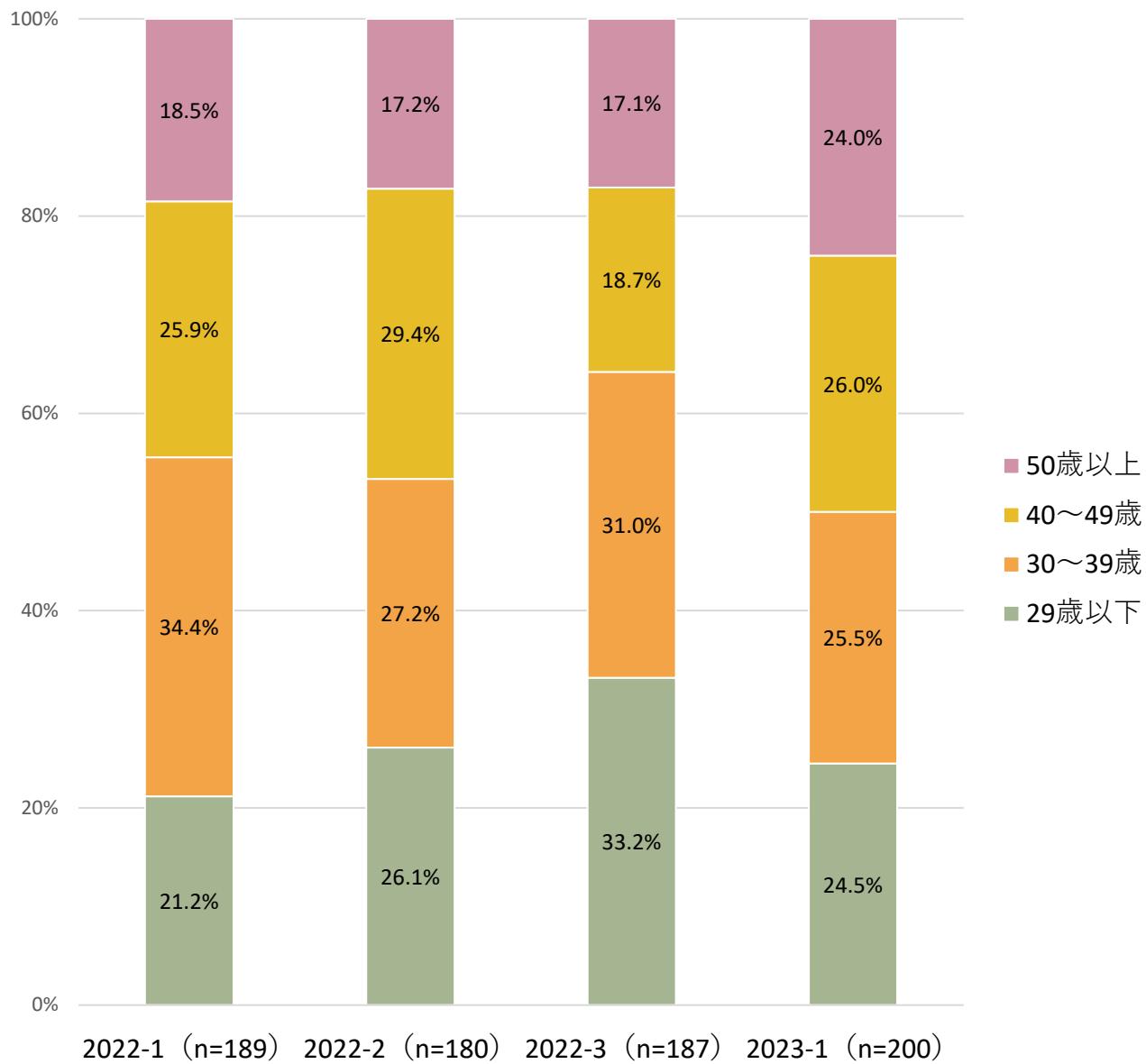
## 結果のまとめ：

- 外国籍の受検者は6.0% – 7.0%で推移、居住地は愛知県が88.5% – 90.9%、受検者の50.0% – 58.0%がゲイバイセクシュアル男性
- 生涯初のHIV検査受検機会であった割合は、29.5% – 39.0%であり、特設臨時検査会(概ね20%) より高い
- 直近のHIV検査場所として、行政の日曜臨時検査を占める割合が経時に増加→iTestingが行政臨時検査の利用につながっている可能性
- 今回の検査会を知った場所として、行政のHIV検査情報サイトを挙げる割合が増加  
→iTestingの継続実施により、行政の検査情報サイトの知名度があがりサイトにアクセスする習慣がついた可能性
- 今後希望する検査場所として、土曜日もオープンしている病院・クリニックが毎回50.0%以上、コミュニティセンターでの検査が続く  
→土曜日の医療機関での検査受検ニーズ、夜間休日オープンのコミュニティセンターでの検査受検ニーズは高い

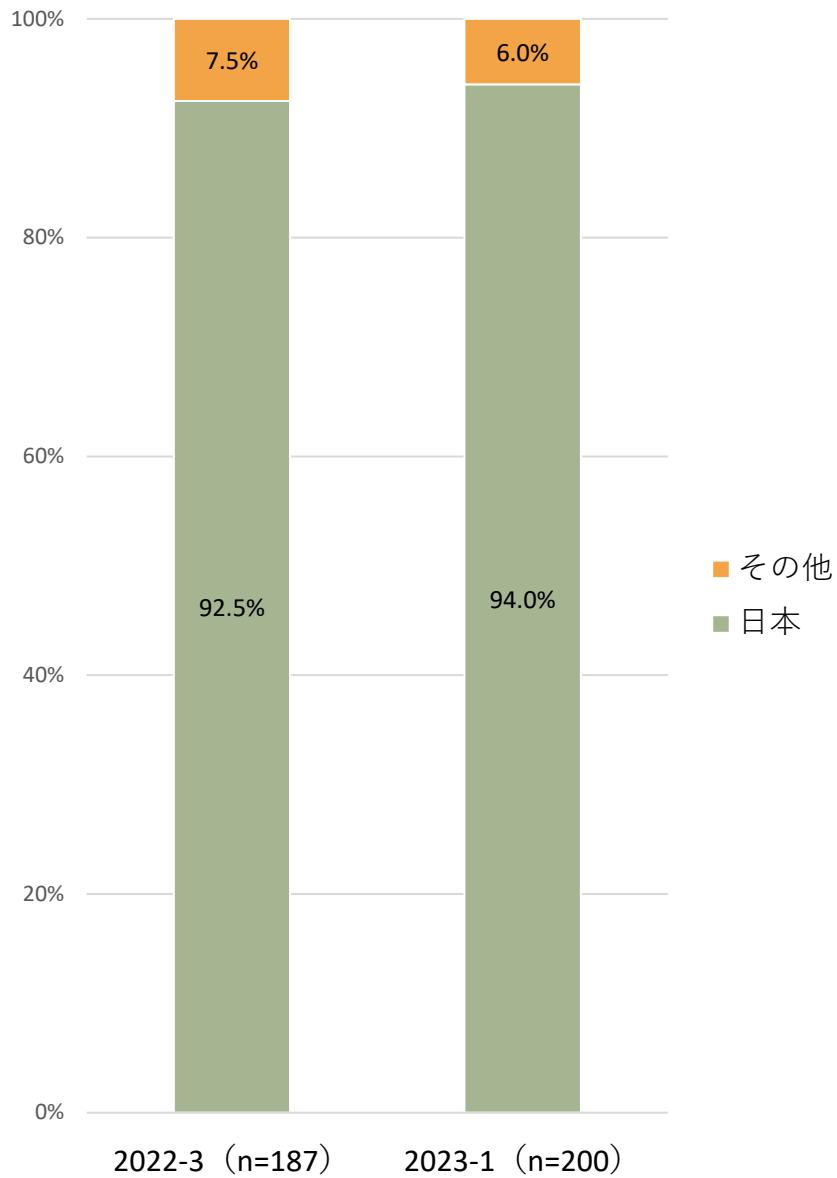
今後、希望する検査場所（複数回答）



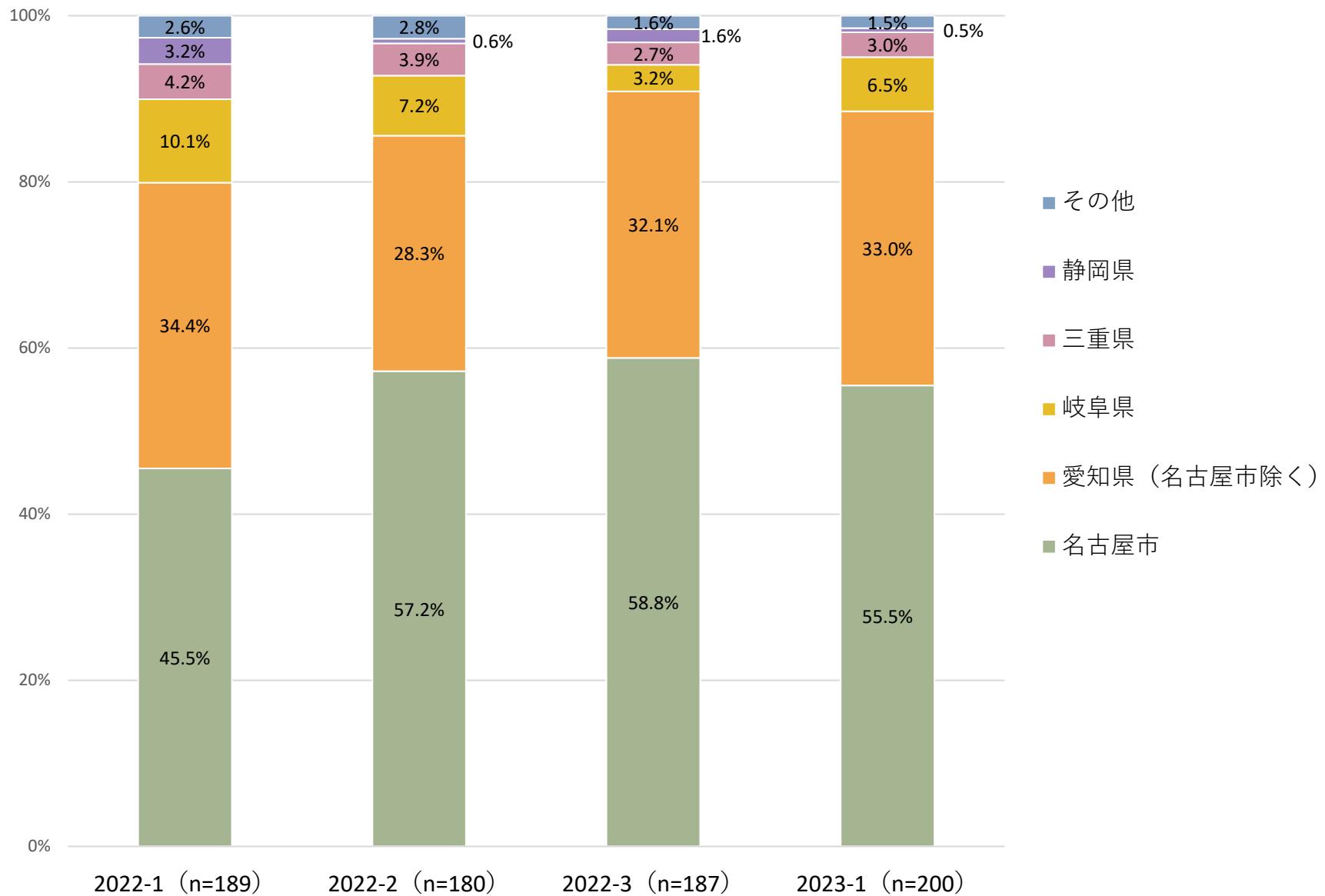
## 年齢区分



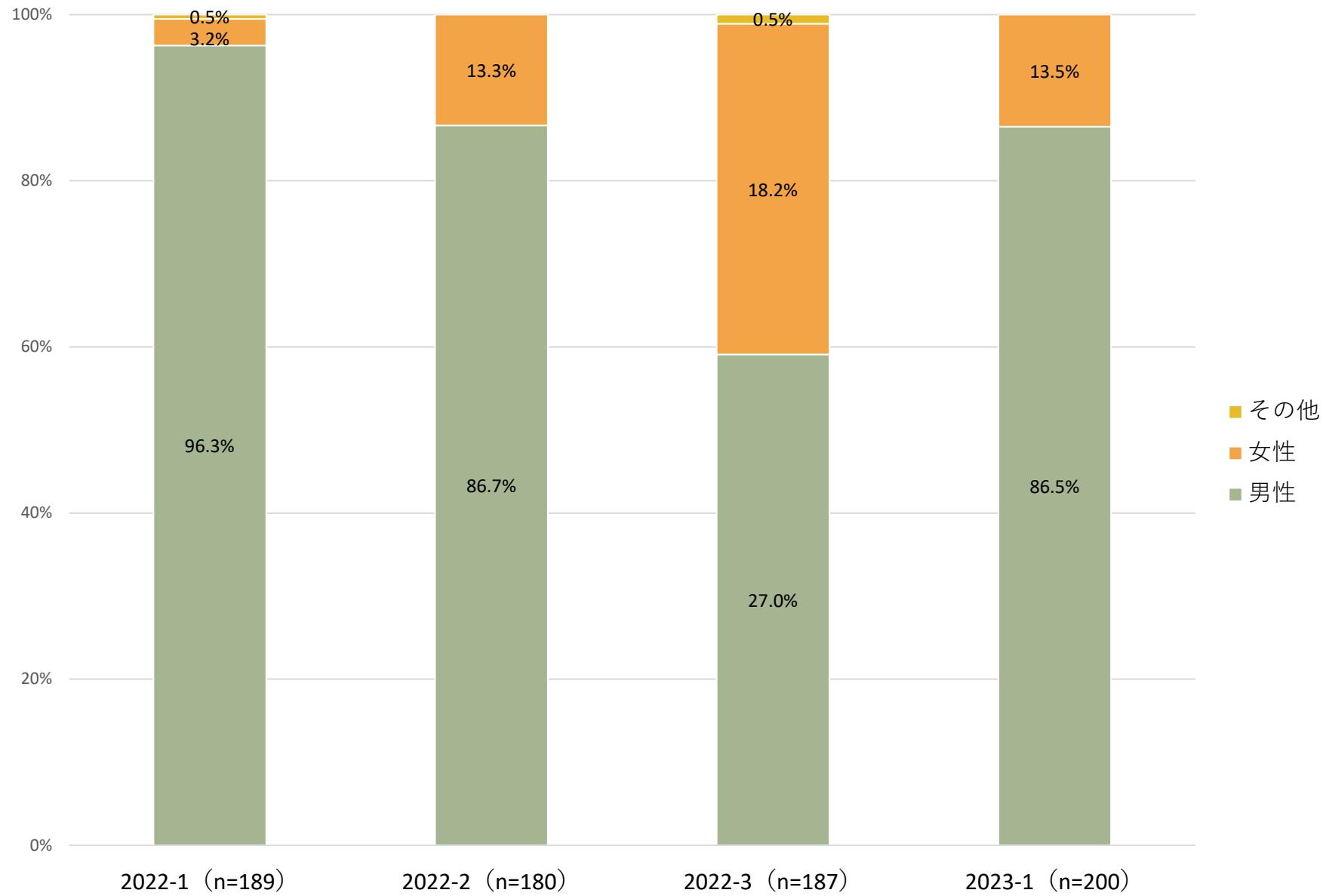
## 国籍



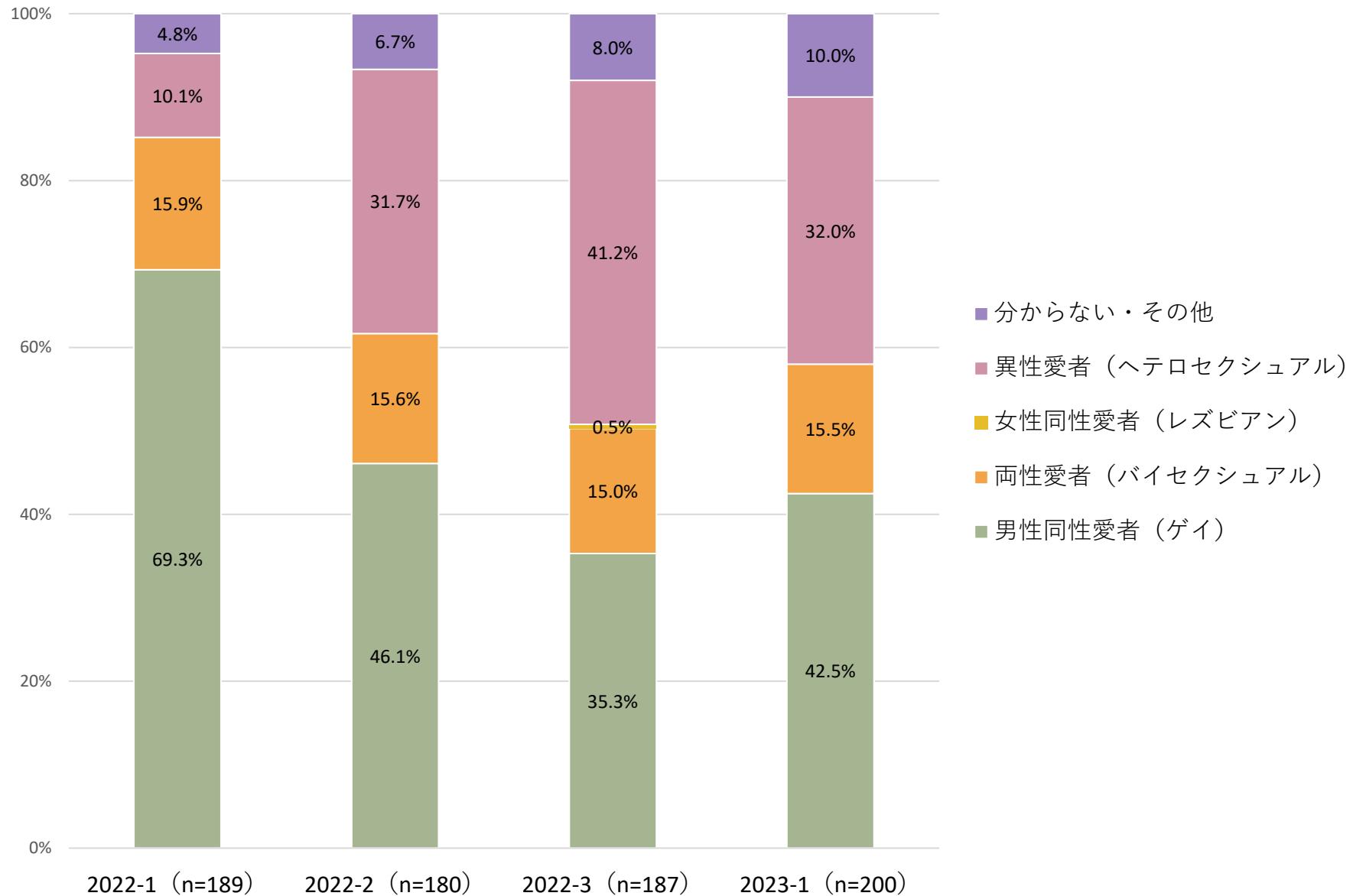
## 居住地



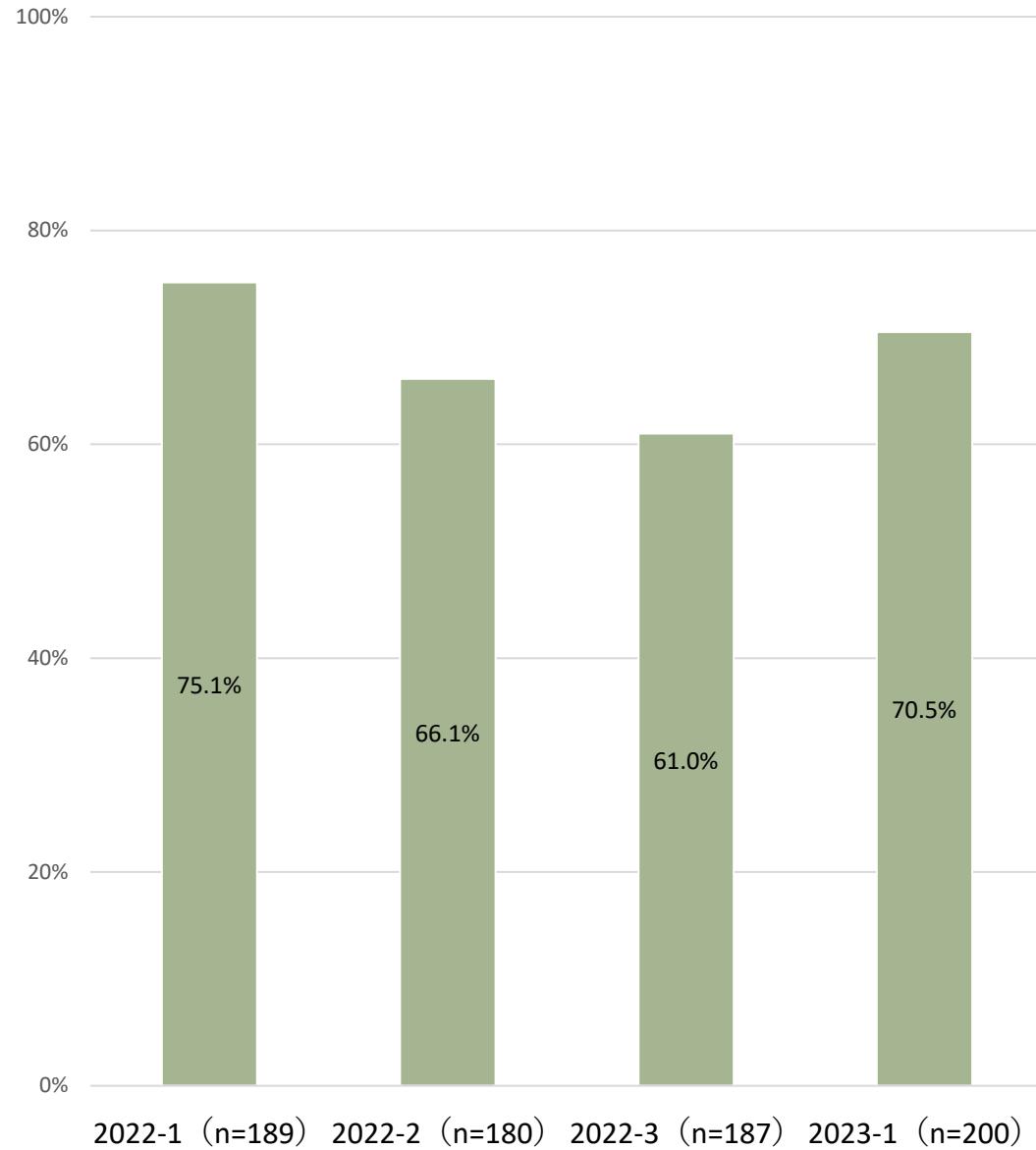
## 性別



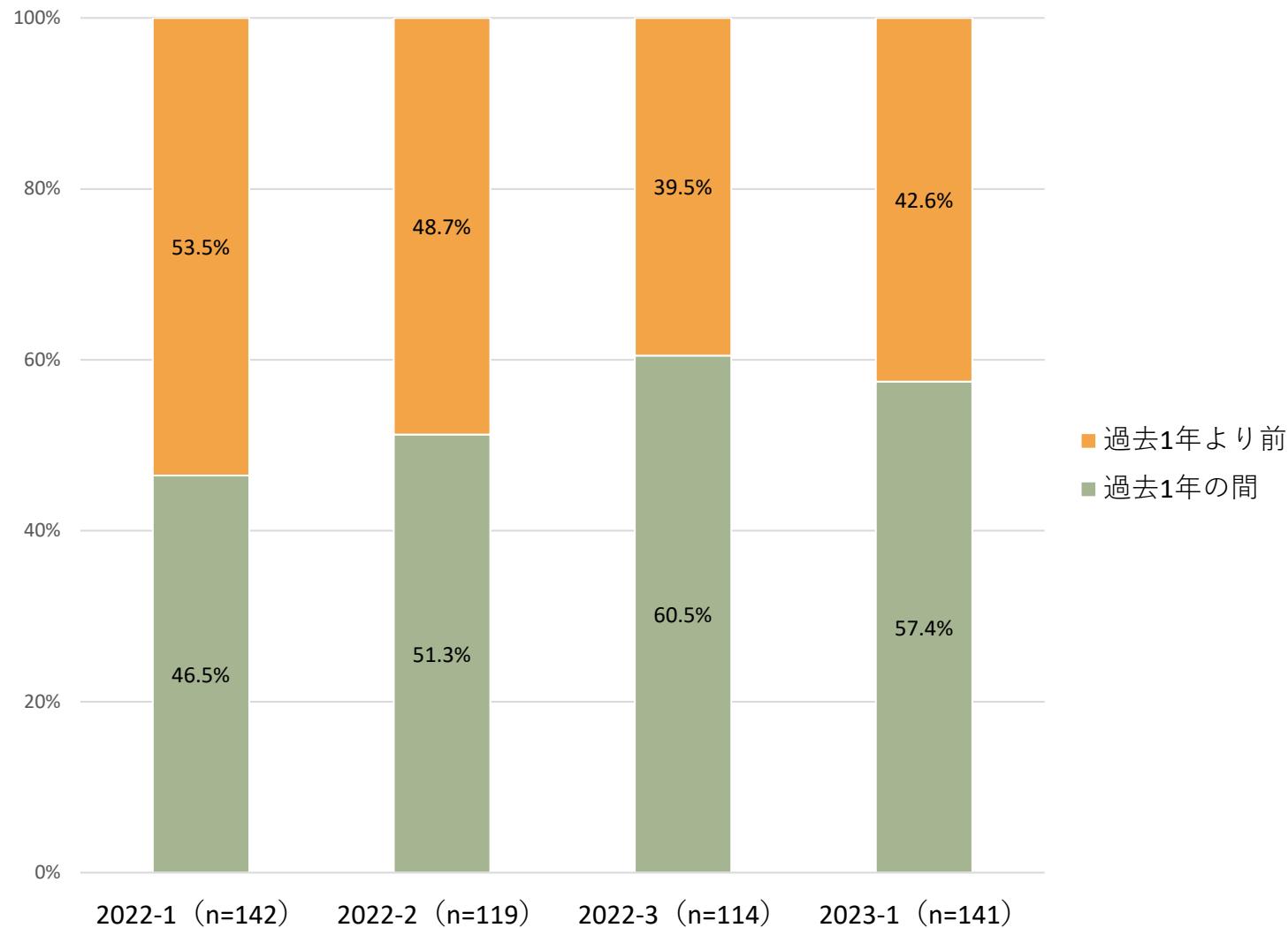
## セクシュアリティ



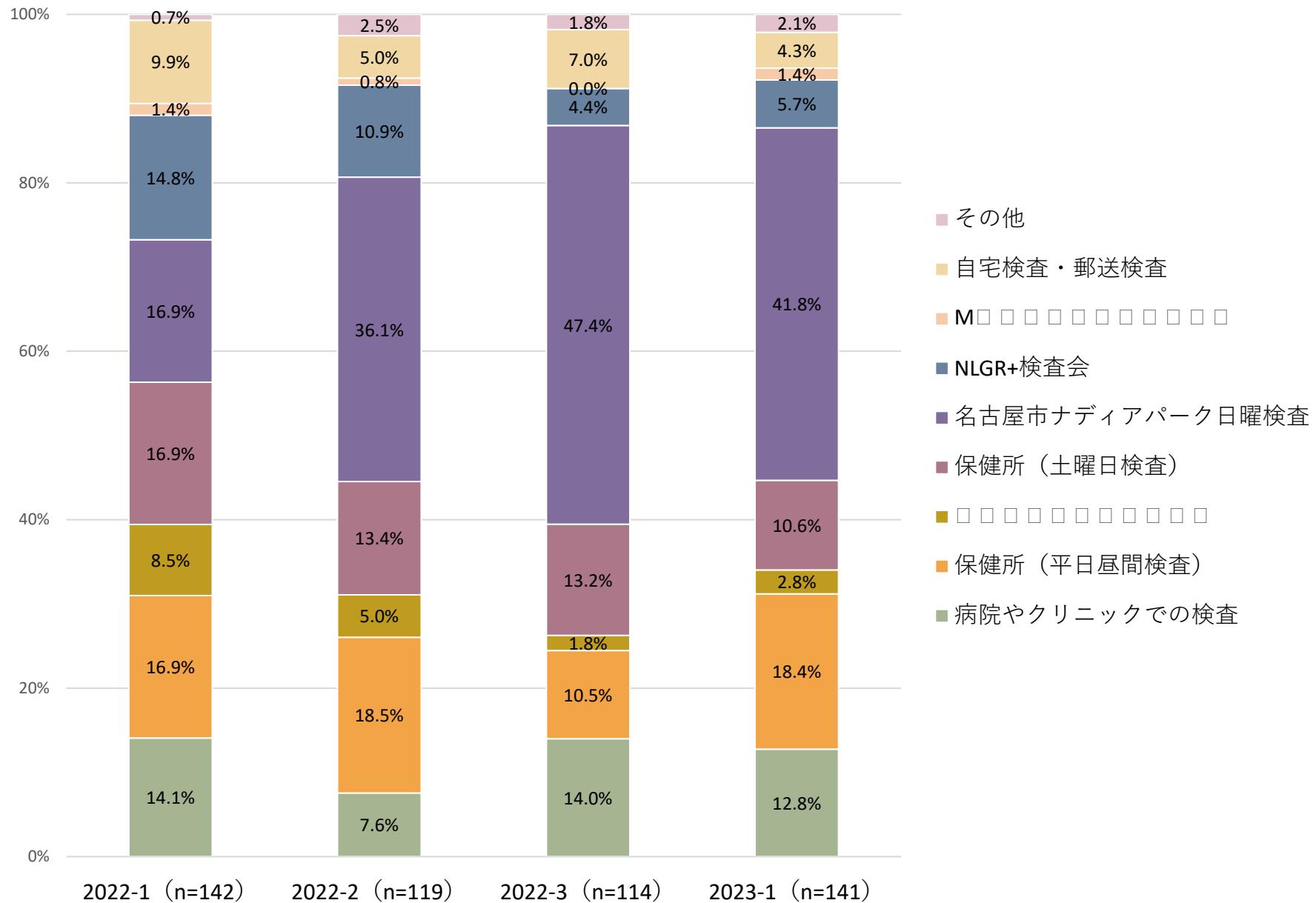
## これまでのHIV検査受検経験（ありの割合）



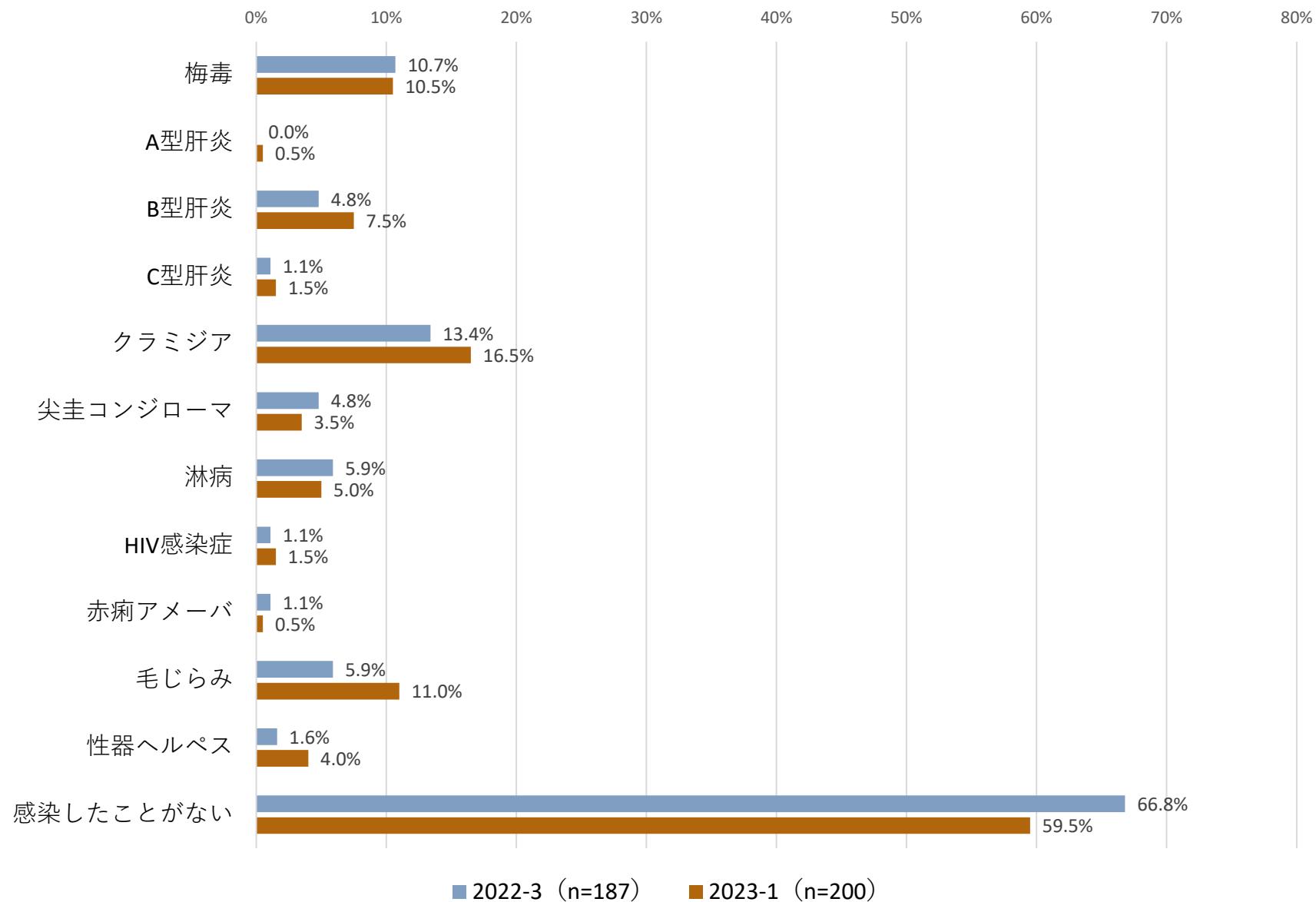
## 直近のHIV検査の受検時期



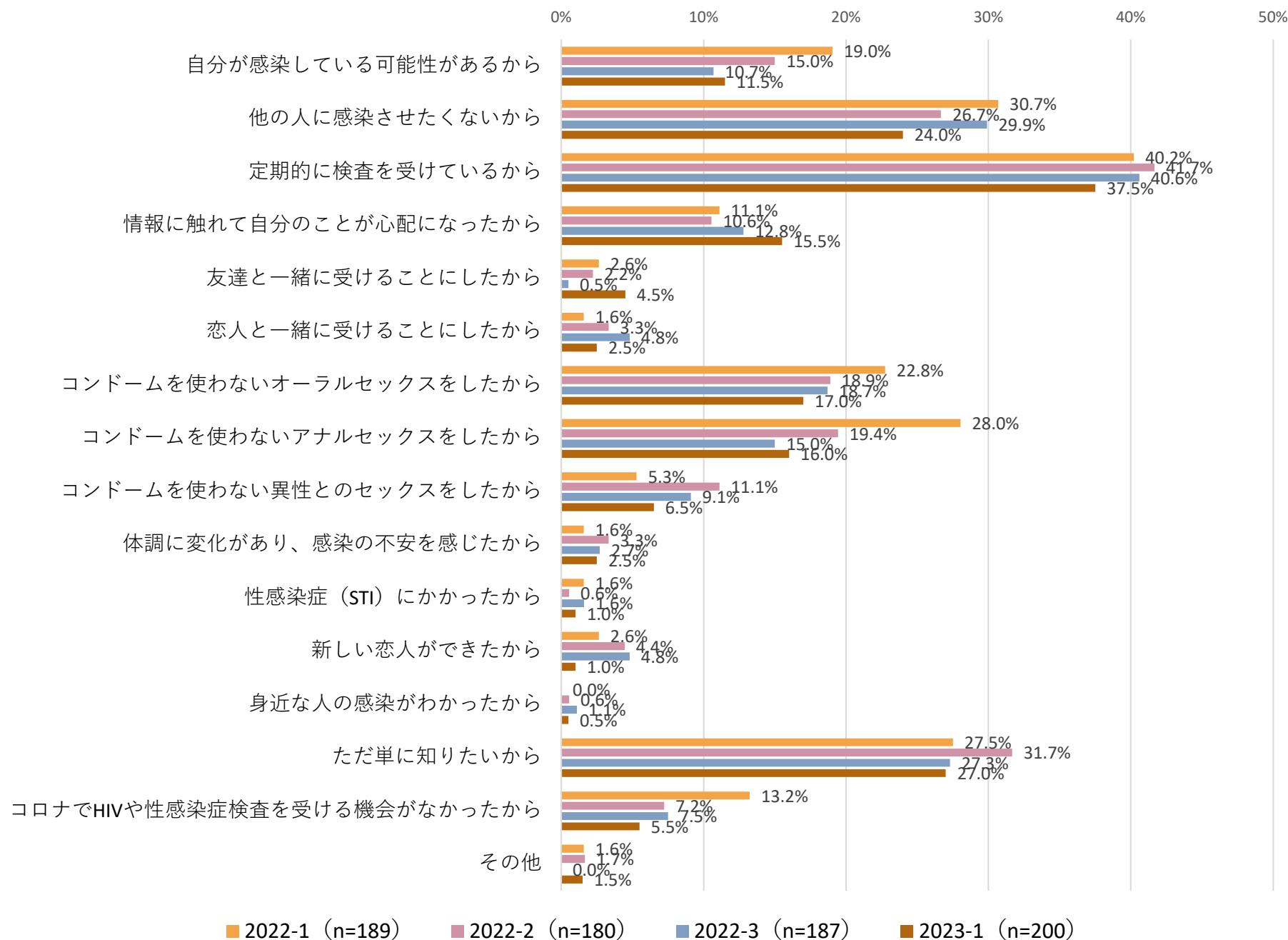
## 直近のHIV検査の受検場所



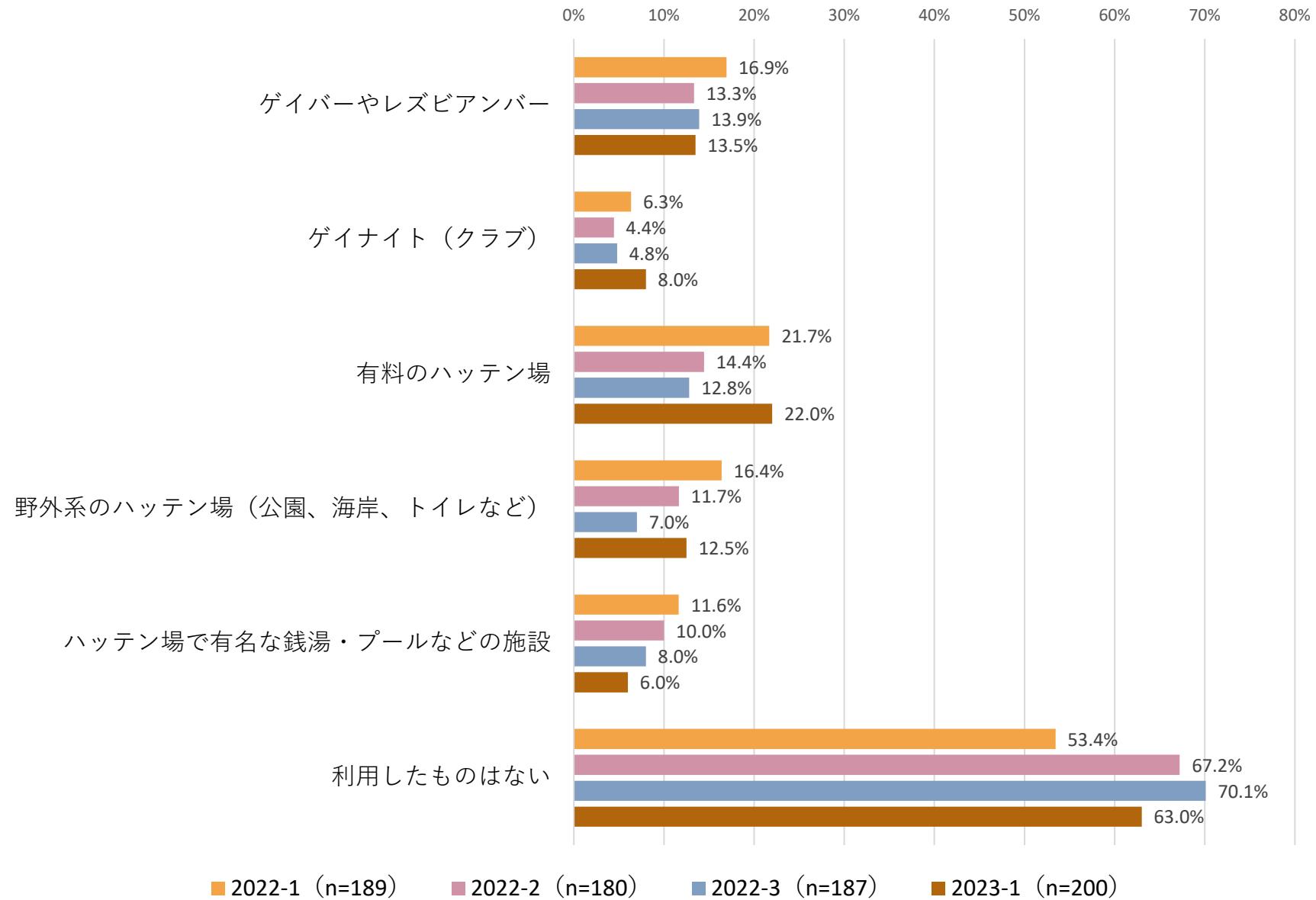
## これまでにかかった性感染症（複数回答）



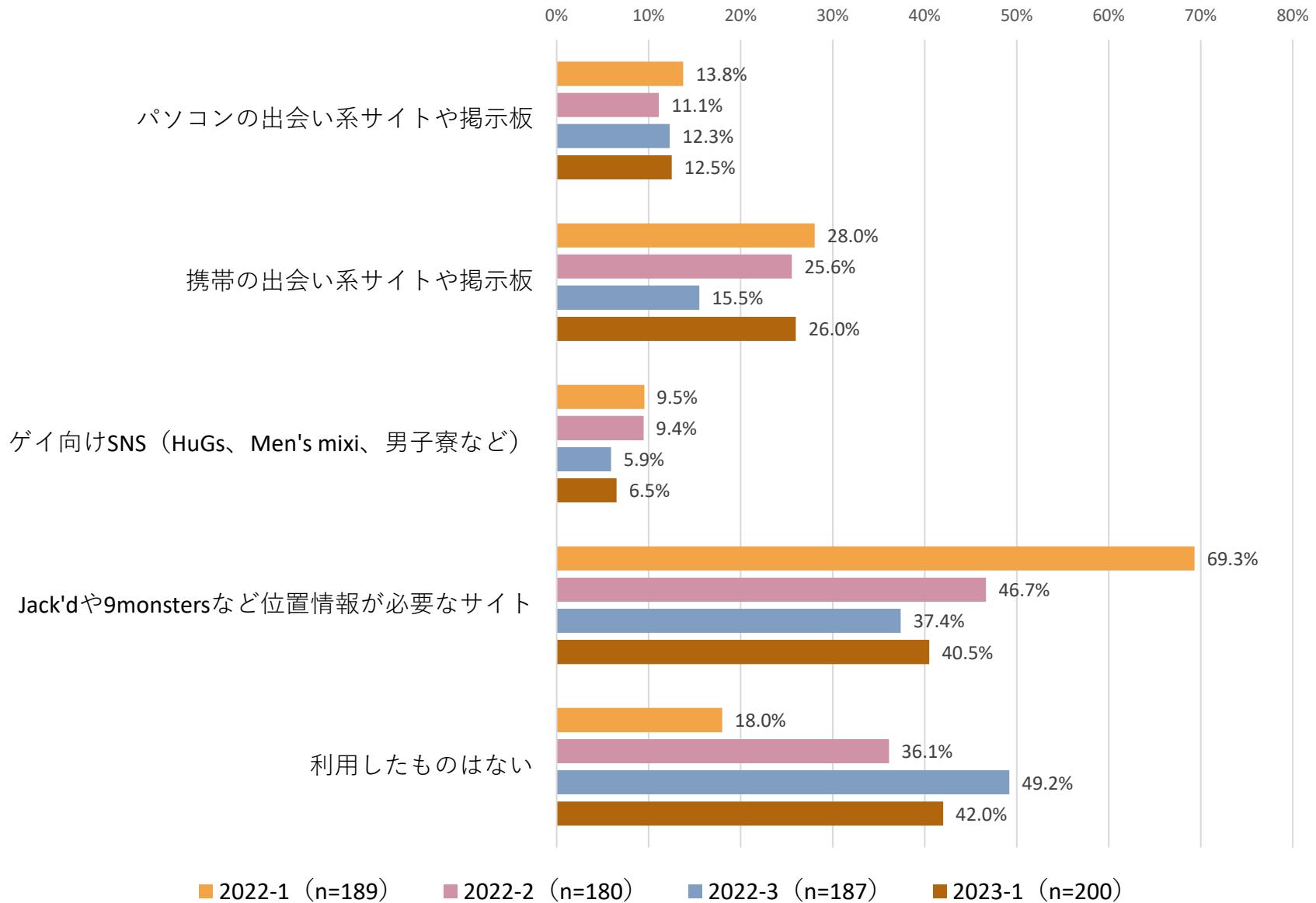
## 今回の受検理由（複数回答）



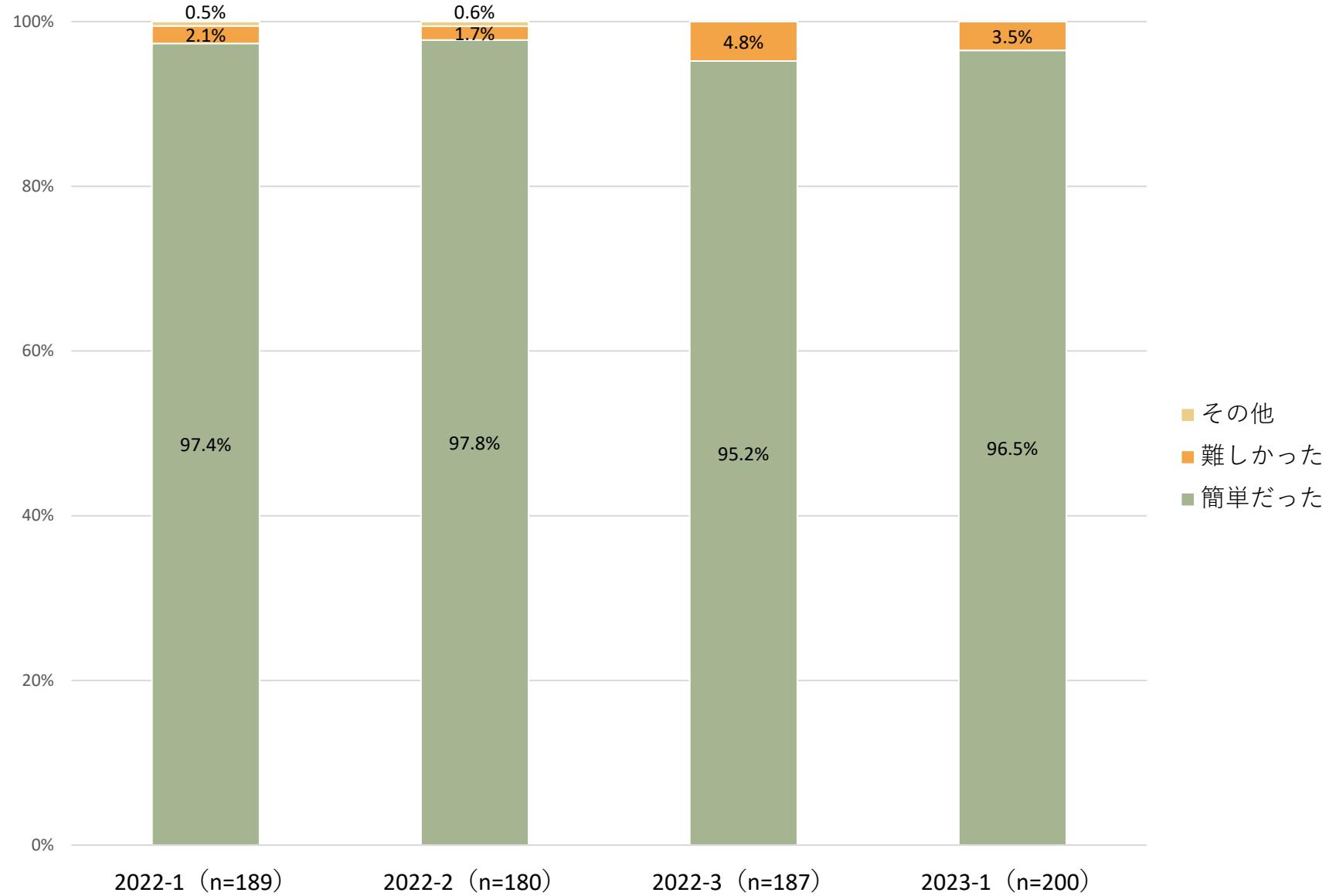
## 過去6か月間に利用した施設等（複数回答）



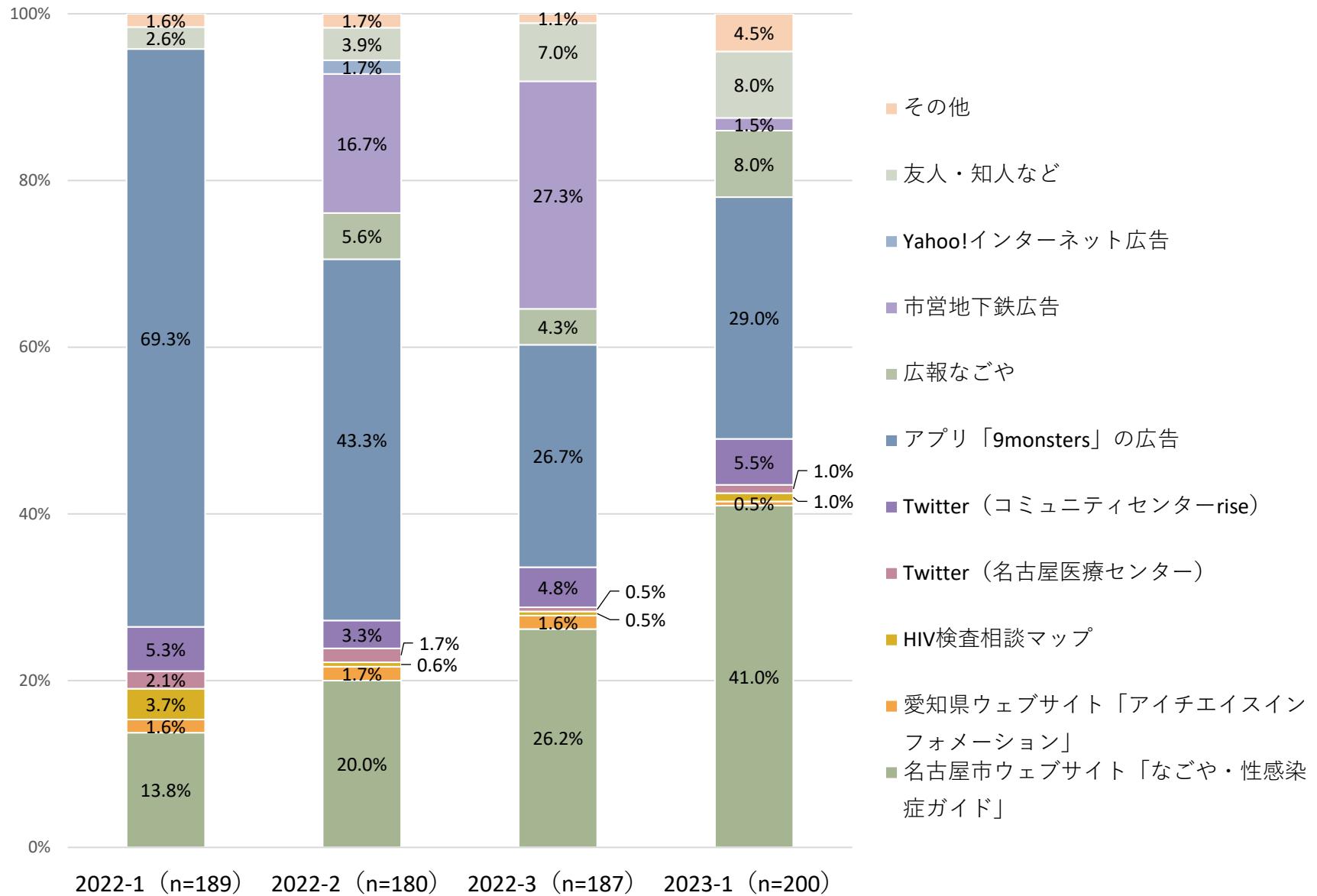
## 過去6か月間に利用したインターネット等（複数回答）



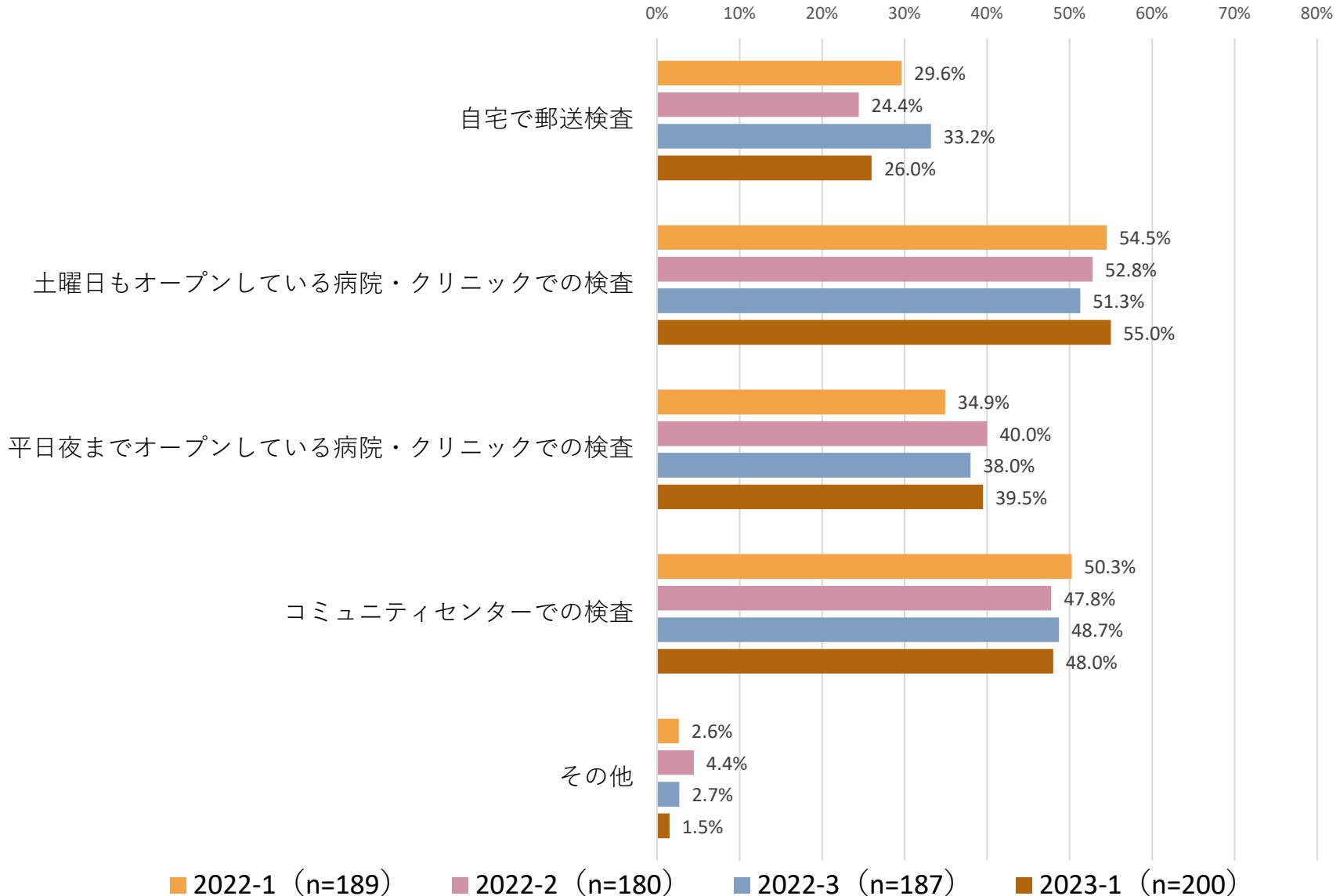
## 結果通知サイトへのアクセスは簡単だったか



## 検査会をどこで知ったか



## 今後、希望する検査場所（複数回答）



## iTesting受検経験

